

—牧師室から—

イエス・キリストの復活は、日曜日の朝早く墓に行った女性たちに最初に知らされた。キリスト教はその彼女たちの証言から始まったと言える。パウロはコリント書で復活に出会った人々を列挙しているが、女性を全く無視している。彼は「婦人たちは、教会では黙っていなさい。婦人たちには語る事が許されていません」と書いている。女性蔑視の価値観からまだ抜けていない。福音書は四つとも復活の最初の証言者は女性であったと伝えている。このことは間違いない事実と思われる。ところが当時、女性には証言能力が認められていなかった。

聖書の民は神と人、人と人の関係は契約によって成立すると考えた。その契約社会では、当然裁判を厳正に行なうことが求められる。二人以上の証言によって真偽が確認された。モーセの十戒の第九戒は「隣人に関して偽証してはならない」とある。これは裁判の

厳正さを保つための戒めである。この裁判において女性は証言能力がないとされていた。福音書はそのような時代背景の中で、復活の最初の証言者は女性たちであり、彼女たちによってキリスト教は担われたと明言している。イエス・キリストの復活は「神は生きておられる」という衝撃的な出来事であった。そして、それを伝えた女性たちの働きも全く衝撃的である。私はここにキリスト教の「命」があると思う。それは、復活がそうであったように、時代が形成している価値観をひっくり返すインパクトを持っているということである。

人間は基本的に保守的であろう。保守性が生存を支えてきた。しかし反面、その保守性が弱い人々を抑圧してきたことも事実である。復活させた神を信じるということは、地上のことを徹底的に相対化することであり、そこに本当の自由がある。この自由が時代の価値観を突き破る「力」を持っている。復活の最初の証言が女性たちに担われたことは、復活の出来事に誠にふさわしい。

週 報

1994年4月10日 復活節第2主日

巻15 2号

1994年度教会主題

「十字架のキリストを証する」

聖句 あなたがたは、代価を払って買い取られたのです。
だから、自分の体で神の栄光を現わしなさい。

コリントの信徒への手紙一 6章20節

- 目標
1. 生活を整えて礼拝、諸集会を守る。
 2. 一人一人が伝道と奉仕を。

日本キリスト教団

横浜港南台教会

〒233 横浜市港南区港南台 7丁目-8-29

電話 045-833-5323 振替 横浜 9-13994

牧師 秋吉 隆雄

牧師宅 電話 045-833-6616